

平成31年1月18日

各位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 工藤 稔

中小企業経営者アンケート「大同生命サーベイ」－平成30年12月度調査－ ～「景況感」と「キャッシュレス決済、2018年の振り返りなど」 についてお聞きしました～

T&D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：工藤 稔）は、全国の中小企業経営者を対象とした毎月のアンケート調査「大同生命サーベイ」を実施しています。

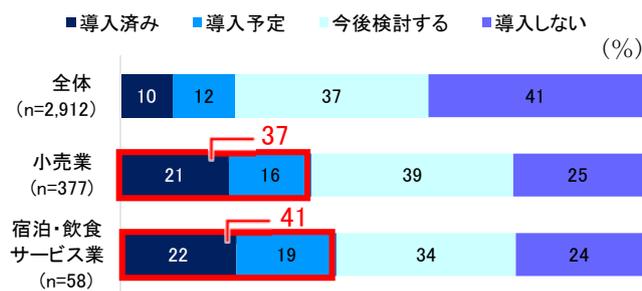
平成30年12月度調査では、毎月実施している「景況感」に加え、個別テーマとして「キャッシュレス決済、2018年の振り返りなど」をお聞きしました。

<調査結果のポイント>

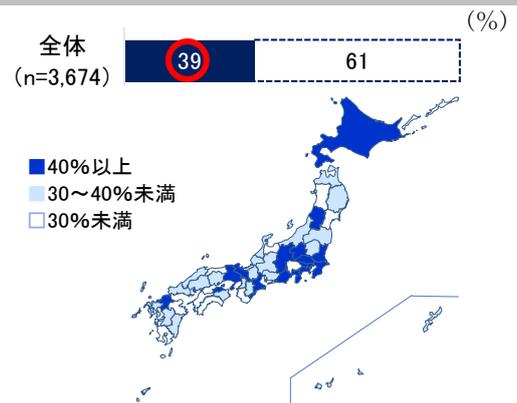
- ・消費税増税時に「キャッシュレス決済利用によるポイント還元」が実施された場合のキャッシュレス決済の導入意向を個人顧客との決済が多い業種（小売業、宿泊・飲食サービス業）でみると、「導入済み」「導入予定」は、「小売業」で37%、「宿泊・飲食サービス業」で41%となりました。
- ・キャッシュレス決済導入にあたっての課題は、全体では「導入方法がわからない」が38%と最も多く、「小売業」では「加盟店手数料が高い」(32%)が、「宿泊・飲食サービス業」では「導入費用が高い」(38%)が最も多くなりました。導入方法の理解促進や導入費用の抑制がキャッシュレス決済普及のポイントとなりそうです。

※経営者自身のキャッシュレス決済の利用状況も調査：「カード型電子マネー」「非カード型（スマホ）電子マネー」「QRコード読み取り型スマホ決済」の経営者自身の利用率は39%となりました。

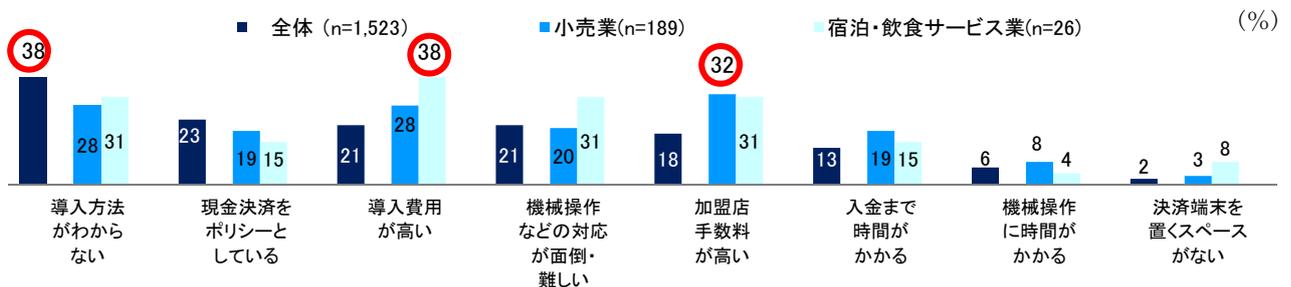
キャッシュレス決済によるポイント還元が実施された場合のキャッシュレス決済の導入意向



経営者自身の電子マネー、QRコード型決済の利用状況



キャッシュレス決済導入にあたっての課題



<調査概要（12月度）>

調査期間	: 平成30年12月3日（月）～12月28日（金）
調査対象	: 企業経営者（約7割が当社ご契約企業）
調査エリア	: 全国
調査方法	: 当社営業職員が訪問により調査（回答企業数 : 4,181社）

<大同生命サーベイについて>

「大同生命サーベイ」は、当社営業職員が経営者のみなさまを訪問し、「景況感」や「経営課題の解決に向けたお取り組み」等に関する“生の声”をお聞きする調査として、平成27年10月より、全国で実施しています（毎月の回答企業数：約4,000社）。

[参考：個別テーマ（直近1年分）]

平成30年 12月	キャッシュレス決済、2018年の振り返りなど
平成30年 11月	中小企業を守る災害への備え
平成30年 10月	中小企業の人材確保と働き方改革
平成30年 9月	成長投資への取組み
平成30年 8月	I Tの活用実態
平成30年 7月	※調査期間中に発生した平成30年7月豪雨の影響を踏まえ、予定していた個別テーマ「災害への備え」は、調査を中止しました。
平成30年 6月	経営者の労働実態
平成30年 5月	販路開拓
平成30年 4月	健康経営への取組み
平成30年 3月	賃上げの実施意向・海外事業展開
平成30年 2月	人材確保への取組み
平成30年 1月	事業承継への取組み

➤ 「大同生命サーベイ」のバックナンバーを、大同生命Webサイトでご覧いただけます。
<https://www.daido-life.co.jp/knowledge/survey/> ※「大同生命サーベイ」で検索ください。

以 上